

切花部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）



品目名：トルコギキョウ
 品種名：ロジーナ® ラベンダー
 出品者：株式会社サカタのタネ
 育成者：森 一俊
 育成権者：株式会社サカタのタネ
 U R L： <http://www.sakataseed.co.jp>

【審査講評】

珍しいラベンダー色の花色が新奇性を感じさせるトルコギキョウ。従来までトルコギキョウにはなかった花色。厚い花びらと整った花型が綺麗で、バラのように咲く八重咲きの品種。時流にマッチした、主張しすぎない品の良い花色と高級感ある花型が魅力的で、幅広い年代層の人々に愛されるであろう。また、色合としても冠婚葬祭のいかなる場面でも活用の幅が広く、大いに市場性も期待できる。世界のトルコギキョウの育種をリードする我が国において、また新たな展開を生み出した意義も大きい。今の時代に求められた総合的に優れた品種として高く評価され、最優秀賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

トルコギキョウは、冠婚葬祭、ホームコースなど、すべての切り花ジャンルで周年を通し利用されています。当社のバラ咲き「ロジーナ」シリーズは、これまでのトルコギキョウの常識を覆す特長でトルコギキョウの世界に新しい可能性を開きました。バラに比べて格段に夏場の花もちがよいといわれているトルコギキョウのなかでも、究極のバラ咲きの特徴をもつ「ロジーナ」シリーズは、夏場のバラに替わる品目として年々使用量が増えています。さらにトルコギキョウはバラと異なり開花が進むにつれて着色する性質があるので、バラのように色合わせのために多くの品種をそろえる必要もないといった経済的な特長ももち合わせています。

また本シリーズは、花もちや輸送性を高めるための品種育成によって、花弁が厚く丈夫になったことや、花首が曲がることを防ぐために茎を太く強健な特性をもたせたことにより、流通適性も大きく改善しています。これらのことから「ロジーナ」シリーズは、花き生産者、そして市場、流通、消費者に至るまで高く評価され、当社トルコギキョウの代表品種のひとつとして広く普及しています。

今回フラワー・オブ・ザ・イヤーを受賞した「ロジーナ ラベンダー」は、赤みが少なく高貴でアンティークな風合いをもち、日本人の心の色として存在感の高い藤色をイメージできるブルー系の中間色です。個人消費者の上位人気色であることはもちろんのこと、冠婚葬祭などの業務用、フラワーアレンジメントにおいても幅広いニーズのある花色をもちます。今後もラインアップを充実し、より一層の需要の拡大を見込んでいます。

【問合わせ先】

担当：株式会社サカタのタネ 花統括部
 TEL：045-945-8804
 FAX：045-945-8805



ベスト・フラワー（優秀賞）

ブリーディング特別賞 同時受賞



品 目 名： オキシペタラム
 品 種 名： マーブルハピネス
 出 品 者： 有限会社 笹岡花卉農園
 育 成 者： 笹岡昌弘
 育 成 権 者： 有限会社笹岡花卉農園

【審査講評】

10枚の純白の可愛い花びらと、抜群の日持ちが特徴のオキシペタラム。花も大きい。従来までのオキシペタラムは、花が葉の下に隠れてしまいがちであったが、この品種は、葉と花の着き方がちょうど良く、花が隠れず、フラワーデザイン等で使用し易い。また、茎、花とも非常にしっかりしている。市場性も有望であり、総合的に高く評価でき、優秀賞を受賞した。また、新奇性のある可愛い花と、使い易い草姿に改良した育成成果によりブリーディング特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

ジャパンフラワーセレクションに2年前の秋に出展したマーブルホワイトの八重咲きを目標にしてきました。思った様にすぐには出来なかった。今後の目標は、ブルー系の斗すい状態に挑戦したい。

【問合わせ先】

担 当： 有限会社笹岡花卉農園 笹岡昌弘
 T E L： 0889-42-3357
 F A X： 0889-43-0111

ベスト・フラワー(優秀賞)

ニューバリュー特別賞 同時受賞



品 目 名： キク
 品 種 名： ヨミステリー
 出 品 者： キリンアグリバイオ株式会社
 育 成 者： Case Vanden Berg
 育 成 権 者： Yoder Brothers Inc.
 U R L： www.kirin-agribio.co.jp

【審査講評】

従来からあるピンポン咲きのものとは異なり、新奇性に富んだ花型が特徴のキク。キク本来が持つ花持ちの良さや扱い易さに加えて、ユニークな花型と落ち着いたピンク色の存在感あるその草姿は、おしゃれな素材として、リングクに新しい可能性を広げる品種として期待できる。総合的に優れた品種として優秀賞を受賞するとともに、リングクに新しい価値観を加えた品種としてニューバリュー特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

ボール状に開花するピンポンマムに始まった弊社のディスプレイタイプ（一輪咲き）の開発から、次に古典菊に代表する変わり咲きや他の洋花の花型に着目し、これまでにない菊の品種開発を行っています。この開発コンセプトの中でも「花に触れてみる」という何気ない行動から当品種は「心地よい」手触りを花型に取り入れた商品だと思っています。今後はピンク単色から様々な花色を加え、シリーズ展開を行うこと、お客様ニーズに合った品種開発を行っていきたくと考えております

【問合わせ先】

担 当： キリンアグリバイオ株式会社
 商品部 マム担当 井の辻
 T E L： 053-488-0751
 F A X： 053-488-0752

ベスト・フラワー（優秀賞）



品 目 名： ダリア
 品 種 名： 鎌倉
 出 品 者： 株式会社 ミヨシ
 育 成 者： 鷲澤幸治
 育 成 権 者： 鷲澤幸治
 U R L： <http://www.miyosi.co.jp/>

【審査講評】

存在感のある大輪デコラ咲きの豪華な白色のダリア。見る者を圧倒するほど大きく、高級感のある美しい花型と品のある白色の花色により、ウェディングを始めとする幅広い場面での使用が期待される。花持ちも優れ、市場性も大いに期待でき、総合的に優れた品種として優秀賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

品種育成者 秋田国際ダリア園 代表 鷲澤 幸治 氏
 かまくらをイメージして作出した品種で、白の代表的な品種ブルックサイドスノーボールを親に交配を重ね、切り花向けに開発した品種。性質としては、茎が硬い 病気に強い 水揚げが良い 早生で回転良い 秀品率高い 球根の増殖倍率高いなどがあげられる。ダリアは、花の豪華さ、花形・花色のバリエーションの広さを持ち、他の花にはない数々の特徴を持つ。現在では切り花として欠かすことできない花材になりつつあり、仕事花や冠婚葬祭などで利用される場面も増えてきている。今後はさらに需要拡大を目指して、花もちの改良、周年安定した出荷量を目指してダリアの切花としての地位を確固たるものにしていきたい。

【問い合わせ先】

担 当： (株)ミヨシ 八ヶ岳研究開発センター
 天野良紀
 T E L： 0551-36-2558
 F A X： 0551-36-2439

ベスト・フラワー（優秀賞）

（カラークリエイト特別賞 同時受賞）



品 目 名： トルコギキョウ
 品 種 名： アンバー ダブルマロン
 出 品 者： 株式会社サカタのタネ
 育 成 者： 森 一俊
 育 成 権 者： 株式会社サカタのタネ
 U R L： <http://www.sakataseed.co.jp>

【審査講評】

茶色と淡緑色が相俟った琥珀色の個性的なシックな色合いが特徴のトルコギキョウ。単なる茶色の品種ではなく、金色に近い輝きを感じる茶色の花色である。花びらも堅い質感で痛みにくく、八重咲きの花型は独特である。フラワーデザイナー等にとっては、デザインの幅を広げることができる品種である。また、従来までの茶色系のトルコギキョウと比較して草姿が綺麗に整っており、市場性も期待できる。総合的に優れている品種として優秀賞を受賞し、また、新奇性のある花色からカラークリエイト特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

トルコギキョウの世界で「佐瀬」ブランドとしてよく知られた個人育種家の佐瀬 昇氏との共同開発により「アンバー」シリーズは誕生しました。この品種の大きな特徴は、独特な質感の花弁をもつことです。今までのトルコギキョウには存在せず、しかもほかの花材では表現できない美しい輝きを放つ、かつてないヨーロッパ調のシックな色合いを表現しました。「アンバー」シリーズの花弁の質感は、硬く、まるでロウ細工を施したかのような「琥珀」(こはく)をイメージさせる輝きがあります。そのため、色合いが単にシックで美しいだけではなく、花の傷みが少なく、花もちがとてよよいといった特長もっています。この独特の花の質感は、この花が併せ持つ「変形雌ずい(雌しべ)」という花粉が雌ずいに受粉しにくい構造を生ずる形質の遺伝子と関連しています。深い色調とその独特な質感の花弁が「琥珀」をイメージさせることから、シリーズ名にその英名「アンバー」を冠しました。「アンバー ダブルマロン」は、従来の一重咲き品種に比べさらにボリューム感あふれる八重咲きを実現し、茶色に淡いグリーンがかかった複雑な深みのある色合いの花色が特徴です。フラワーアレンジメントのバリエーションをさらに広げる画期的な品種です。

【問い合わせ先】

担 当： 株式会社サカタのタネ 花統括部
 T E L： 045-945-8804
 F A X： 045-945-8805

ベス・トフラワー（優秀賞）

（モーストジョイ特別賞 同時受賞）



品 目 名： ロサ（バラ）
 品 種 名： マードレ⁺
 出 品 者： 國枝バラ園
 育 成 者： LEX⁺
 育 成 権 者： LEX⁺

【審査講評】

鮮明な赤色の高芯剣弁の巨大輪のバラ。茎は見事にまっ直ぐで、花首も太く、葉もしっかりしており、トゲも少ないので扱いもし易い。従来の赤系大輪種と比較してもピロードの花びらと先がカールする花が非常に美しい。高級感もあり、「ローテローゼ」に代わる品種が求められている中、期待できる次世代の赤系大輪バラである。総合的に見ても高く評価でき優秀賞を受賞するとともに、華やかなムードを醸し出す雰囲気によりモーストジョイ特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

オランダの育種会社である LEX⁺社の品種。マードレ⁺は日本選抜品種として販売している。ピロード赤、高芯剣弁咲きの巨大輪で、日本人が好む色、形である。

今後は品種展示会などを通して、苗の販売をし、広めていく。

【問い合わせ先】

担 当： 國枝バラ園 國枝武夫
 T E L： 077-585-3617
 F A X： 077-585-5523

ベスト・フラワー(優秀賞)



品 目 名： ユリ
 品 種 名： プチソレイユ
 出 品 者： 山口県農林総合技術センター
 育 成 者： 山口県
 育 成 権 者： 山口県
 U R L： <http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg>

【審査講評】

スカシユリとヒメユリの種間交雑で育成された花の直径が約10cmの小型のユリ。従来までのユリになかった大きさで、スカシユリとヒメユリの中間のサイズで、フラワーアレンジメント等の利用し易いサイズ。色も明るいオレンジ色で和洋問わず幅広い場面での活用が期待できる。オランダでの育成品種が大勢を占めるユリの市場において、我が国の貴重な育成品種として、そのオリジナル性があり、業界に与えるインパクトは大きい。総合的に優れており優秀賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

【開発の経緯】

山口県では、花きの生産振興を図るためにユリのオリジナル品種の育成に取り組んでいます。その中で、花は小さいけれども色のバリエーションが少ないヒメユリと、様々な色の品種があるアジアティックハイブリッドを交配して、鮮やかな花色でフラワーアレンジメントなどに利用しやすい小型のユリを開発しました。

【開発コンセプト】

「小さい・かわいい・飾りやすい」ユリとして開発しました。オリエンタルユリなどの大きくて豪華なイメージとは異なり、カジュアルに飾れる品種です。また、花の香りもないため、食卓やリビングにも飾りやすく、新たな需要が期待できます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

品種開発や種苗増殖には長い時間を要し、生産者や消費者のニーズに即応できない難しさを感じています。その中で、高い評価をいただける品種が育成できたのは、多くの方々のご協力・ご支援のおかげです。

【今後の展開】

現在、消費者のもとへより多くの切り花を届けられるように、産地拡大を図っています。また、新しい花色の小輪系品種も開発していますので、これらを加えて「プチシリーズ」を身近な花として多くの方々に使っていただけるように、新品種の種苗増殖と産地への普及を進め、山口県の花のPRと花の消費拡大を図ります。

【問い合わせ先】

担 当： 山口県農林総合技術センター 農業技術部
 園芸作物研究室 専門研究員 尾関仁志
 T E L： 083-927-0211（代表）
 F A X： 083-927-0214
 メール： a17201@pref.yamaguchi.lg.jp

ベスト・フラワー(優秀賞)

グッドパフォーマンス特別賞



品 目 名： リンドウ
 品 種 名： ニューハイブリッドアシロ ライトブルー
 出 品 者： 八幡平市花き研究開発センター
 育 成 者： 吉池貞蔵、日影孝志、北口輝男、遠藤満、高橋亮
 育 成 権 者： 八幡平市

【審査講評】

葉、茎とも細く、花色は淡い優しいブルーのグラデーションで、従来にない柔らかく優しいイメージが印象的なリンドウ。仏花としてのイメージが強いリンドウのイメージを一変させ、新しい需要を喚起することができる品種である。独自性もあり、日本を代表する花の一つであるリンドウの新しい可能性を作った品種として、総合的に見ても高く評価でき優秀賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

【開発コンセプト】

今までの「リンドウは仏花」というイメージを払拭し、新たなアレンジメント材料として利用できる品種を開発する。

【発見・開発のおもしろさ、難しさ】

花色は淡いブルーで茎・葉ともに細く、分枝し、従来のリンドウには見られない柔らかさがあり、新たな需要拡大を期待している。しかし、分枝の仕方等においてバラツキがあること、片親の性質が弱く、安定した採種が困難なこと等、残された課題がある。

【今後の展開】

この品種は、7月下旬~8月上旬咲きであるが、同タイプの新たな品種開発により出荷期間を広げたい。また、施設利用による早出しの可能性も確認したい。

【問い合わせ先】

担 当： 八幡平市花き研究開発センター 横山 温
 T E L： 0195-72-2111 (内線 3611)
 F A X： 0195-72-2562
 メール： atsushi-y@city.hachimantai.lg.jp



品 目 名： 宿根カスミソウ
 品 種 名： アルタイル
 出 品 者： 株式会社ミヨシ
 育 成 者： 谷一道、クララ=デハン
 育 成 権 者： 株式会社ミヨシ
 U R L： <http://www.miyosi.co.jp/>

【審査講評】

ボリューム感が良く、花持ちに優れ、無数の純白色の小花が特徴の宿根カスミソウ。特に花持ちの改善は、皆が待ち望んだ画期的なことである。生産者や小売店での花殻摘みに追われていた労力が軽減できるのみならず、宿根カスミソウ自体の価値を引き上げる。従来までの「雪ん子」に代わる品種として市場性も大いに期待できる。これらのことによりグッドパフォーマンス特別賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

【開発の経緯】シュッコンカスミソウはバラとの組み合わせで母の日のスタンダードアイテムとして普及していたが、現在では“古臭い”“ダサイ”“花持ちが悪い”などの生花店のイメージで消費が落ち込んできている。一方で、消費者からは高い人気がある。これらの状況を打破するために、今までのカスミソウのイメージを一新する品種の開発に取り組んだ。

【開発コンセプト】花持ちが非常に良い品種、今までの花束用途以外のアレンジなどへの用途に適する品種

【発見・開発の面白さ、難しさ】他の花と異なりカスミソウは、“白い”“小さな花”という特徴が限りなく少ない花であるため、品種間の差別化が非常に難しい。色や形などで特徴を出すのが難しいため、“花持ち”や“花の着き方”などで差別化することとなった。植物開発は、工業製品と異なり数値化できるスペックが皆無に等しい。そんな思い通りになりにくい中で、自分の思い描く商品の開発を目指す作業は苦労も多いが生き物の神秘に触れられる機会も多く非常にやりがいがある。

【今後の展開】もはや花持ち性能はアルタイルがスタンダードになりつつあるため、その他の性質で今までのカスミソウのイメージを一新できるような品種の開発を目指したい。

【問い合わせ先】

担 当： 株式会社ミヨシ 八ヶ岳研究開発センター
 谷 一 道
 T E L： 0551-36-2558
 F A X： 0551-36-2439
 メール： tani@miyosi.co.jp

フレグランス特別賞

ジャパndeザイン特別賞



品 目 名： バラ
 品 種 名： パープルフラガンシア
 出 品 者： キリンアグリバイオ株式会社
 育 成 者： ArhauD Delbard
 育 成 権 者： ArhauD Delbard
 U R L： www.kirin-agribio.co.jp

【審査講評】

クラシカル調に開花する花型で、抜群の芳香が特徴のバラ。花と葉のバランスも良い。また、一般的に芳香性のバラは花持ちが悪いと言われるが、この品種は、花持ちにも優れる芳香性のバラとして今後期待がかかる。これらのことによりフレグランス特別賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

最近、切花用としては希少となってしまった、香りのある紫系のバラ。そんなバラをお客様にお届けしたいという思いから、パープルフラガンシアは(フランス、デルバール社より)作出されました。パープルフラガンシアは香りのあるバラの短所でもある鑑賞期間の短さや弁質がデリケートである点を持ち合わせておりますが、むしろその特徴を長所として捉えお客様に伝えたいと考えました。それは、デリケートで繊細な花ほど、より本来の花の力を引き出し生命の尊さを感じさせるからです。今後は、そんな特徴を理解していただける様、新しいバラの楽しみ方も提案していきたいと思っております。是非、パープルフラガンシアの素晴らしい香りを楽しんでください。

【問い合わせ先】

担 当： キリンアグリバイオ株式会社
 商品部 バラ担当 平瀬
 T E L： 053-488-0751
 F A X： 053-488-0752



品 目 名： バラ
 品 種 名： mia愛子
 出 品 者： ローズファームケイジ
 育 成 者： 國枝 啓司
 育 成 権 者： 國枝 啓司
 U R L： WEB： <http://www.rosefarm-keiji.net>
 BLOG： <http://ameblo.jp/rose-universe>

【審査講評】

ナチュラルな趣のピンク色の花をたくさん着けるスプレータイプのバラ。花着きが非常に多く、数本でブーケができるほど、見事なまでのボリューム感である。世界のスプレータイプのバラの育種をリードする日本において、オリジナル性溢れる優れた品種として今後に期待がかかる。また、無数に咲く可愛らしいピンク色の花は、日本人ならではの可愛らしさを象徴するものとしてジャパndeザイン特別賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

ローズファームケイジでは、花が「生きている美しさ」を伝えるべく、心と表情のある、しっとりとした花づくり、和の心のある「和ばら」を提唱し新品種を作出しています。mia愛子は、ばら作家である國枝啓司が、「切り花の楽しみの原点」をテーマに、庭に咲いていた花をそのまま活かしたような自然な美しさを表現しています。今までバラ切り花ではあまりなかったスプレーではなく「房咲き」のスタイルと、香りがあるのに長持ちするという固定概念の打破という側面も持ち、切り花に適した改良も加えられています。ローズファームケイジでは、花づくりは芸術であると考え、作出した品種は作品であり、一つ一つの作品にはテーマと物語があります。

【問い合わせ先】

担 当： ローズファームケイジ 國枝健一
 T E L： 077-583-812
 F A X： 077-583-812
 メール： info@rosefarm-keiji.net

モニター特別賞 人気投票（春）第1位



品 目 名： デルフィニウム
品 種 名： アクティア
出 品 者： カネコ種苗株式会社
育 成 者： カネコ種苗株式会社
育 成 権 者： カネコ種苗株式会社

【審査講評】

花がライトブルーのインパクトある大輪のデルフィニウム。大輪であるので、一輪ずつに花を使うなど、新しい活用方法が期待できる。また、見応えのある花と、爽やかなライトブルーの花色が人々の心に訴えるものがあり、人気投票（春）で見事1位を獲得した。

モニター特別賞 人気投票（秋）第1位



品 目 名： バラ
品 種 名： ピーチブライド
出 品 者： 有限会社 アリアローズプランニング
育 成 者： 有限会社 アリアローズプランニング
育 成 権 者： 有限会社 アリアローズプランニング
U R L： <http://www.aria-rose.co.jp>

【審査講評】

綺麗で上品な薄いピンク色の花色と大輪のエlegantな雰囲気の花。花が大きく豊かなイメージで、ウェディングブーケなどで利用が見込まれる。今日のニーズに合致した花色、花型で、人気投票（秋）で見事1位を獲得した。

【出品者からのコメント】

「ピーチブライド」はオリジナル品種であり、世に必要とされるバラを提供するために交配し生み出されたバラである。花のインパクトは凄くあるものの、花弁の弱さで輸送面に苦労もあったが、花をティッシュで包むという他に例のない方法で解決。「ピーチブライド」の枝変わり品種も作出し、今後の展開も楽しみ。

【問合わせ先】

担 当： 有限会社 アリアローズプランニング
山見英介
T E L： 083-957-0873
F A X： 083-957-0873
メール： info@aria-rose.co.jp

鉢物部門

フラワー・オブ・ザ・イヤ－（最優秀賞）



品目名： シンビディウム
 品種名： メモリーズ オブ ユー
 出品者： 株式会社向山蘭園
 育成者： 向山武彦
 育成権者： 株式会社向山蘭園

【審査講評】

超大輪のピンク色の花が特徴のシンビジウム。花の大きさは、既に多く流通しているピンク系のシンビジウムの中でもひととき存在感がある。市場性も期待され、シンビジウムとしての価値を更に高める品種として高く評価された。また、花が大きいと、花と花との間隔がないことから、花茎を曲げたアーチ仕立てのみならず、花茎をまっすぐ伸ばした仕立てであっても十分にインパクトを發揮する。即ち、マーケットのニーズとしてアーチ仕立てが全盛ではあるが、生産者側からすると、それを作るには余分な手間がかかり、物流効率も悪いといった欠点がある。この品種は、まっ直ぐに伸ばした仕立ての評価を取り戻すことができる品種である。このことは、単に超大輪という新しい形質を付け加えられただけでなく、エコロジーが重視される昨今の世相にマッチする。まさしく時代が生んだ秀逸な品種である。

【出品者からのコメント】

【開発の経緯】1996年に交配し、2000年に本固体を一次選抜した。その後試作を続け、2005年に商品化して苗の販売を開始し、2008年より製品（鉢花）の市場流通が本格的にスタートした。

【開発コンセプト】より大輪の花を、より鮮やかなピンク色を、よりバランスの良い鉢花を目指して開発された。また、生産農家にとって栽培しやすい営利性も重要な育種目標であった。

【発見・開発の面白さ、難しさ】シンビジュームの育種は長い年月が必要。交配から商品化まで約10年、その交配の元になる親作りも含めると約20年の歳月が必要となる。交配に使用した片親は、色は良くないが大輪のピンク、もう片親は色は良いが中輪のピンクで、両親の良いところを受け継いだ。

【今後の展開】ピンクの最高級品種として市場に流通させたい。通常出回っている鉢花より一輪が大きく色彩も鮮やかなため、脚光を浴びるだろう。品種の価値観を損なわないような販売を目指したい。

【問い合わせ先】

担当： 株式会社向山蘭園 営業部 石河英作
 TEL： 0533-33-7792
 FAX： 0553-32-0240
 メール： info@mukoyama.jp



ベスト・フラワー（優秀賞）

（ジャパンデザイン特別賞 同時受賞）



品 目 名： アマリリス
 品 種 名： ミニアマリリス ” 赤ダルマ ”
 出 品 者： 有限会社三宅花卉園
 育 成 者： 三宅 勇
 育 成 権 者： 有限会社 三宅花卉園
 U R L： www.009upp.so-net.ne.jp/miyake-nursery/

【審査講評】

従来までのアマリリスのイメージを一変させる超小型のアマリリス。オランダで育成された大輪でボリュームのあるアマリリスを見慣れた我々にとって、驚きとともに新鮮さを感じさせる。花色は鮮やかな赤色に白目があり、コンパクトな草姿と相俟って可愛らしく映る。いろいろな場所でインテリアとして利用できるため、従来のアマリリスになかった新しい市場を広げる可能性がある。また、アマリリスの育種の新たな方向性を見出したという点においても高く評価される。これらのことより、総合的に優れた品種として優秀賞に値する品種であるとして認められた。加えて、日本の美意識に訴える可愛らしいミニマムな姿からジャパンデザイン特別賞も同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

アマリリスの育種は常に大きく豪華であることが最上とされている。私もその流れに沿って育種を進めているが、一方小さく可愛らしい小型の種もあってよいと感じていた。オランダで育種された小型のグラシリス系は従来から市販されていたが今一つ魅力に欠けていた。私は花茎が短く強く丸弁で葉のバランスも取れた品種の育種を目指していた。また、9cm ポットで栽培し開花させることが出来ればと思っていた。この『赤だるま』の育種には特別の原種を用いたものではないので、実生新花の中より少しでも目標に近いもの同士の交配を繰り返した。1997年実生新花の中に本種を発見し選抜した。1998年、本種の持っている性質を再確認し、赤だるまと命名した。赤だるまは従来のアマリリスにはない可愛らしい個性と観賞価値を持っているので、テーブルや居間などの狭いスペースでも楽しめる、一つのインテリアとして楽しんで欲しいと思っている。

【問い合わせ先】

担 当： 有限会社三宅花卉園 三宅泰行
 T E L： 0475-24-5419
 F A X：
 メール： n-miyake@fa3.so-net.ne.jp

ベスト・フラワー（優秀賞）

（ジャパンデザイン特別賞 同時受賞）



品 目 名： サイネリア
 品 種 名： 桂華R やすらぎ
 出 品 者： 株式会社華金剛
 育 成 者： 落合 成光
 育 成 権 者： 落合 成光

【審査講評】

茎が長く伸びてよく分枝し節々につく小さな葉が特徴のステライル系のサイネリア。草丈が高く、高いところに咲きそろう姿は、従来のサイネリアにない姿である。このような系統の品種は、海外にもないので特に高く評価できる。更に、同様の品種では、今まで形質が固定され、安定的に生産・供給される品種が少なかったが、この品種は、揃いがよく、花粉が出ないため花持ちに優れる。育種大国ニッポンとしての今後を担う優れた品種として、総合的にも優れていることから優秀賞に決定した。また、品の良い花型と色、凛とした立ち姿から、ジャパンデザイン特別賞を同時に受賞とした。

ベスト・フラワー（優秀賞）
グッドパフォーマンス特別賞



品 目 名： シクラメン
 品 種 名： ピエーノローザ
 出 品 者： 雪印種苗株式会社
 育 成 者： 雪印種苗株式会社
 育 成 権 者： 雪印種苗株式会社

【審査講評】

可愛らしい中輪タイプの花がびっしりと咲き、整った花の姿が魅力的なシクラメン。花びらは全体が薄い赤紫色で辺縁部が濃色で非常に綺麗な花色をしている。葉も小さいものがたくさんつき、花とのバランスが非常に良い。総合的に申し分なく、優れた品種として優秀賞を受賞した。また、栄養繁殖であるので個体間のばらつきがなく、株の形、花の色など安定性が抜群に良く、生産者にとってもメリットが高いことからグッドパフォーマンス特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

【開発の経緯】雪印種苗(株)では薬培養および組織培養といったバイオ技術と従来の育種技術を組み合わせるシクラメンの品種開発を行っています。ピエーノローザはまさにその全ての技術を結集してできた品種です。つまり、4倍体系統品種であるピクトリアを薬培養により2倍体化し、その後他の2倍体系統と交配して優良個体を選抜、それを組織培養でクローン増殖してピエーノローザが誕生しました。【開発のコンセプト】ピクトリアは覆輪とフリンジがあり、華やかで人気のある品種です。しかし、4倍体であるために比較的晩生で栽培が難しく、花色の発色程度が安定しないという問題がありました。そこでバイオ技術を利用して、早生で栽培しやすく、安定性の高い夢のようなピクトリアを作ろうと開発に着手しました。【発見・開発の面白さ、難しさ】交配をしてそれからどんな花が咲くのか・・・思ったような花が咲いたときは嬉しいものです。逆にどんなに試しても思い描くような花が咲かないこともあります。組織培養などのバイオ技術も成功する品種と全くできない品種があり、なかなか思い通りには行きません。そのような中で開発できた品種が店頭に並び、皆さんに喜んでもらえることが一番の喜びです。【今後の展開】組織培養品種では自社開発の系統に加え、国内のブリーダーと協力した品種開発も行っています。また、F1品種は近々新品種をぞくぞくと発売する予定です。

【問い合わせ先】

担 当： 雪印種苗株式会社 畑作園芸本部 花卉課
 T E L： 長田和哉
 F A X： 043-241-7733
 メール： 043-238-1383

ベスト・フラワー（優秀賞）
ブリーディング特別賞



品 目 名： シクラメン
 品 種 名： ミラクルファンシーボール
 出 品 者： 有限会社 サンフロリー-芙久舞
 育 成 者： 福田桂祐
 育 成 権 者： 福田桂祐
 U R L： <http://www.s-fukuma.co.jp/>

【審査講評】

完全な八重咲きで新奇性に富む優れたシクラメン。花びらが多く、見事なボール状になっている。通常のシクラメンに慣れ親しんでいる人からすれば、一見すればシクラメンとは分からない。また、従来の八重咲き品種は、花の重さで花茎が曲がるものがほとんどであったが、これは花茎がまっ直ぐ立ち上がり、花が株の真ん中にまとまる点は、特に高く評価でき、受粉する可能性がないことから花持ちも優れる。総合的に見て非常に優れており優秀賞に値する品種である。また、新しい花の形質は、育種努力の成果であり、ブリーディング特別賞を同時に受賞とした。

【出品者からのコメント】

【開発の経緯】栽培中に見たことのない蕾をしたシクラメンを発見し、これは育種に使えると取って置き、どんな花が咲くのだろうと観察していた。12月下旬に花が咲き、見たことのないほどの花弁数をもったシクラメンが咲いた。咲いた時期が遅かったため、早生のものを選抜し11月下旬からの出荷が可能になった。【開発のコンセプト】低迷する花キ業界に新しい風を巻き起こす品種をコンセプトにしました。【今後の展開】今後は、花色が異なるものが数種類できているので、それを品種登録し、量産できるように努力していきたいです。

【問い合わせ先】

担 当： (有)サンフロリー-芙久舞 福田桂祐
 T E L： 0288-22-4187
 F A X：
 メール： s-fukuma@grape.plala.or.jp

ベスト・フラワー（優秀賞）

（モーストジョイ特別賞、モニター特別賞 人気投票（春）第1位 同時受賞）



品 目 名： パンジー
 品 種 名： マイファニー・プリンセス
 出 品 者： 都筑の里
 育 成 者： 筧川勝之
 育 成 権 者： 筧川勝之

【審査講評】

青紫と赤紫の濃淡で優しい淡いイメージで、フリルの入った花びらが可愛らしいパンジー。現在、多くの品種が流通するパンジーにおいても、これほど新奇性を感じさせる花色は他に類を見ない。人気投票（春）においても圧倒的に1位を獲得したことから伺える。人々の心を射抜いた絶妙な花の色、型は、十分に高く評価でき、優秀賞に選ばれた。

また、特に女性に好まれそうな口マンチックな雰囲気は、更に人気ができることが期待され、モーストジョイ特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

以前発表の『氷の妖精』水色と淡いピンクとのかけ合わせです。中輪であり、すこし変わったフリルなものが良いなどの思いからはじめ、今選抜を続けています。非常に透明感のある『氷の妖精』の特徴が良く出ていますが、少し花弁が薄いことも似てしまいました。これからも選抜等をしていき、この花を育てていきます。きれいな？変わった？これもありか？といろいろと見せてくれる花を、お伝えできればと思います。

【問い合わせ先】

担 当： 都筑の里 筧川勝之
 メール： flora356@plum.ocn.ne.jp

ベスト・フラワー（優秀賞）

（カラークリエイト特別賞、モニター特別賞 人気投票（秋）第1位 同時受賞）



品 目 名： ファレノプシス
 品 種 名： チョコレートパール
 出 品 者： 有限会社座間洋ランセンター
 育 成 者： 有限会社座間洋らんセンター
 育 成 権 者： <http://zama-orchids.jp>
 U R L:

【審査講評】

暗赤紫色の非常に珍しい花色が特徴のファレノプシス。とても品の良い花色で、特に花好きの人に好まれるであろう。人気投票（秋）第1位であったことから今後の展開に期待がかかる。また、特殊な花色の品種は、概して花着きが少ないと言われているが、この品種は、非常に花着きが良い点も高く評価できる。一般的に流通しているファレノプシスを見慣れた人にとって、大きなインパクトを与えることは間違いない。これらのことより総合的に見ても優れており、優秀賞とともにその花色からカラークリエイト特別賞を同時に受賞とした。

【出品者からのコメント】

当花との出会いは5年前だった。とても強い衝撃をうけ、ファレノプシスの生産をスタートさせるキッカケとなった。その強い想いは、日本での販売権を得た。しかしその当時、日本の胡蝶蘭業界では白花大輪が主流の、当花のような色がまだ無く、非常識だったため、先輩達からは強い反対を多々受けていた。「この花は美しい」という信念が揺るがなかった事が、現在本格生産がスタート出来た要因だと思う。

当花は黒（濃紅）色花を育種する上で大変重要な Phal. Golden Pecker の F₃、大輪系ピンク系の育種で重要な Happy Valentine の F₄である。この交配の流れは、中輪アントシアニン系の凝縮黒色花が出来るプロセスとしては理想的な流れである。また schilleriana や stuartiana といった原種の血筋が29%含まれる事は、花茎腋枝の分岐するタイプであり、これからの育種を行なう上で大変面白い親となりうると考えている。

今後の展開としては、日本全国へこの花を届けるため、数軒の農家でエリア分けをして、各地方をカバーして供給出来るようにして行きたい。また育種としても、花弁が厚く花持ちが良い、GoldenPecker のキメラ的遺伝子形質を受け継いでいる、といった2点に着目した当花を使った交配も進めていきたい。

【問い合わせ先】

担 当： 有限会社 座間洋らんセンター
 専務取締役 加藤春幸
 T E L： 046-251-3428
 F A X： 046-257-1187
 メール： katoharuyuki@mm.neweb.ne.jp

ベスト・フラワー（優秀賞）

（ブリーディング特別賞 同時受賞）



品 目 名： ベゴニア
 品 種 名： ミリオンキッス エレガンス
 出 品 者： カネコ種苗株式会社
 育 成 者： フレデリック イエイツ
 育 成 権 者： フレデリック イエイツ

【審査講評】

枝垂れるように咲く一重咲きのベゴニア。一重咲きの品種は、以前からもあったが、この品種は、茎が斜上してその先がゆるく下垂する草姿を見せ、新奇性に富む品種として高く評価される。また、生育が旺盛で枝分かれが多く、花着きもよくボリューム感もある。花色は、上品な帯桃白色で、「エレガンス」の名前にふさわしい。人気投票でも人気が高く、総合的に見ても優れた品種として優秀賞を受賞した。また、今までにない新奇性のある草姿を生み出した育種成果により、ブリーディング特別賞を同時に受賞した。

ベスト・フラワー（優秀賞）

（ニューバリュー特別賞 同時受賞）



品 目 名： リンドウ
 品 種 名： クリスタルアシロ
 出 品 者： 八幡平市花き研究開発センター
 育 成 者： 吉池貞蔵、日影孝志、北口輝男、遠藤満、高橋亮
 育 成 権 者： 八幡平市

【審査講評】

黄白色の清楚な花色で、花も大きく見応えがあるリンドウ。花一つひとつが非常に大きくボリュームがあるため、鉢花としての存在感がある一方、従来の鉢物のリンドウにはない品の良さや可愛らしさを感じる。和洋を問わず多くの場面での使用が可能で、新しい鉢物商材として期待ができる。我が国の育成品種として独自性があることから高く評価され、優秀賞を受賞した。また、今までにない鉢花のリンドウの価値観を作った点も評価され、ニューバリュー特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

【開発の経緯】

当センターで選抜した鉢物用青系統と鉢物用白系統を交配した実生の中から選抜した栄養系品種である。

【開発コンセプト】

青と白の複色でボリュームのある立性の品種を開発する。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

当品種を地床で選抜する際、花は素晴らしいが葉が大き過ぎることが最大の問題であった。ところが、技術のある鉢物生産者に試作を依頼したところ、葉はコンパクトに仕上がりに、ボリュームのある花が咲いたときの感激は今でも忘れられない。やはり品種開発にはブリーダーと優れた生産者の協力が不可欠であることを痛感した。

【今後の展開】

今までのリンドウのイメージ（花色、形状等）を一新するような鉢物用品種の開発を目指す。

【問合わせ先】

担 当： 八幡平市花き研究開発センター 横山 温
 T E L： 0195-72-2111（内線 3611）
 F A X： 0195-72-2562
 メール： atsushi-y@city.hachimantai.lg.jp

ブリーディング特別賞



品 目 名： アザレア
 品 種 名： 越の舞姫
 出 品 者： 新潟県花木振興協議会
 育 成 者： 金子英雄、小泉薫、宮島利功、田中雅生、
 中野太佳司、後藤豊、杉浦広幸、森山勉
 育 成 権 者： 新潟県

【審査講評】

パステルピンク色の大輪の花が特徴のアザレア。これほどの大輪で美しいアザレアは珍しく、アザレアのマーケットを喚起し、市場拡大に貢献する品種として期待できるものとして、ブリーディング特別賞を受賞。今後、日本のみならず、我が国の育成品種として海外輸出等にも期待したい。これらのごによりブリーディング特別賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

この品種は、平成2年に新潟県農業総合研究所園芸研究センターにおいて、「コンディスカチーフ」に「春のひびき」を交配し、その実生の中から選抜。以後、増殖を行いながら特性の調査を継続し、11年にその特性が安定していることを確認して育成を完了したものです。

全国トップの生産量を誇る新潟県産アザレアの一層の需要拡大を図るため、花色・花型に優れ、促成栽培に適するアザレアの新品種育成を目標として開発しました。

「越の舞姫」は大輪の桃色花で、花弁に淡黄緑色のプロッチが入ります。花型は一部または全ての雄ずいが小花弁化した半八重咲きです。花弁縁は弱く波を打つ。開花期はやや晩生で、無冷蔵栽培での開花始期は3月下旬、9月中旬冷蔵終了の促成栽培での開花始期は1月上旬です。

パステルピンクの花色でパーティードレスをイメージした花は大輪で、花弁が厚く花持ちが良いです。

【問い合わせ先】

担 当： 新潟市秋葉区産業振興課 滝沢孝芳
 TEL： 0250-25-5340
 FAX： 0250-24-5888

モーストジョイ特別賞



品 目 名： アジサイ
 品 種 名： フラウ ニューカツコ
 出 品 者： 海老原園芸
 育 成 者： 海老原 廣
 育 成 権 者： 海老原 廣

【審査講評】

ピンク色の萼片一つひとつの周りに、はっきりとした白色が入るアジサイ。従来までの「フラウ カツコ」は、人気品種として既に流通しているが、これに改良が加えられた品種。生育がより旺盛になり、萼片もより大きく、白の覆輪もくっきり表れる。生育の良さからボリュームのある鉢花となり、ピンクと白の覆輪花は明るく見える。人々のニーズに合致し、今後、更に人気が出るのが期待されることから、モーストジョイ特別賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

新規性を求めて開発致しました。コンセプトは、見た時点で求めてみたいと思う、またお店で買いたくなるような商品。2,000本の中より選抜した時、今までにない花を発見した時の感動は忘れられません。また多くの苗の中から思ったものが出ない時の事も多々ありました。今後は萼片の強い物の開発で秋色アジサイとして開発しています。

【問い合わせ先】

担 当： 海老原園芸 代表 海老原廣
 TEL： 0285-74-3488
 FAX： 0285-74-2267
 メール：

ニューバリュー特別賞



品 目 名： キク
 品 種 名： フライングカーペットマム カーペットサーフ
 出 品 者： 有限会社 豊幸園
 育 成 者： 牛田敏良史
 育 成 権 者： 有限会社豊幸園
 U R L： <http://hokoen.jp>

【審査講評】

今までにない横に広がるほふく性のキク。枝分かれが多く、一枝が60cm以上にも伸長し、しかも、枝は横に開張して特異な草姿を見せ、従来のキクには見られない形質である。グランドカバーとしてのみならず、プランター等に植えて、枝垂れ咲くようにハンギング仕立ても可能。キクが本来持つ環境に対する強さと花持ちの良さに加えて、今までにない新しい草姿は高く評価できる。世界的に見ても新しい価値観を生み出した品種として、ニューバリュー特別賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

従来、菊というと、仏花などに使用するというイメージが強く、菊の品種改良にたずさわる者として、ガーデニングなど、もっと一般的な使われ方もできないかということ、を、常々考えていました。そんな中、野生菊を交配親に使うことにより匍匐性という今までのタイプとは異なる品種の開発に成功し、次年度(2009年春)からの販売にまでこぎつけました。カーペットサーフの可能性は、ガーデニングに限らず、壁面緑化、公園などの植栽等、環境に配慮した緑化への使用が期待できる場所にもあります。今後は色幅を増やし、開花期を早め、八重咲きなど花型の作出に引き続き取り組んでいきます。

【問い合わせ先】

担 当： 有限会社 豊幸園
 代表取締役 牛田敏良史
 T E L： 0567-32-2315
 F A X： 0567-31-0488
 メール： kiku@hokoen.jp

フレグランス特別賞



品 目 名： シクラメン
 品 種 名： さわや香ミディ
 出 品 者： 財団法人東京都農林水産振興財団
 育 成 者： 澁澤直恵、吉岡孝行、小川謙司
 育 成 権 者： 財団法人東京都農林水産振興財団
 U R L： <http://www.tokyo-aff.or.jp/>

【審査講評】

周り一面に良い香りを漂わせる芳香性のシクラメン。胚珠培養を利用した種間交雑による品種であり、その香りの良さだけでなく、野生種の血を受け継ぐ丈夫な性質で、耐寒性、耐暑性も高く評価できる。シクラメンに新たな可能性を見せる品種として、今後の更なる展開を期待したい。これらによりフレグランス特別賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

現在シクラメン栽培品種は育種が進み、多様な色・形をもつ品種が開発されていますが、さらに香りを付与してバラエティーを広げることで、新たな展開を図りました。強い芳香性を保有するシクラメン原種との交配により得られた種間雑種の中から、花色・花型・栽培特性などの観点から選抜をし、さわや香ミディを開発しました。本品種は、葉を縁取るようにハート型に斑が入ることもアピールポイントとしています。

原種の形質が入っていることから、花弁が細く尖り気味であること、花色が薄いこと、花数が多くないことなど、従来のシクラメン育種の視点からは弱点となるような要素もあり、賛否両論ある中での普及には苦勞しました。しかし、花好きの消費者に新規性が受け入れられたこともあり、現在では問い合わせや感想を多くいただいております。また、複数の生産者に栽培を依頼したところ、当初開発段階で把握していたよりも花数が増し、花弁の大きさも大きくなるなどの結果が得られるようになりました。さらに夏季の高温や冬季の低温にも従来品種に比べて耐性が高く、丈夫であることが明らかになりました。

今後は、鉢花としての販売に加え、丈夫さを活用したガーデニングシクラメンとしての利用も考えています。

【問い合わせ先】

担 当： 東京都農林水産振興財団 農林総合研究センター
 園芸技術科 澁澤直恵
 T E L： 042-528-0505
 F A X： 042-523-4285
 メール： naoe-shibusawa@tdfaff.com

カラークリエイト特別賞



品 目 名： ラベンダー
品 種 名： わたぼうし
出 品 者： 萩原園芸
育 成 者： 萩原 豊
育 成 権 者： 萩原 豊

【審査講評】

紫色の花の頭に白色のリボンがつく可愛らしい花が特徴のラベンダー。単色のラベンダーが主流の中、これまでにない新しい花色として新奇性に富んだ品種。その花色とたくさん着いた小振りの花とが相俟って、全体のバランスも良く、コンパクトにまとまる草姿が可愛らしい雰囲気演出する。今後、更なる展開が期待できる品種として、カラークリエイト特別賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

実生系イングリッシュラベンダーの生産から始まり、出荷時期の幅を考えストエカス系（ブルー）を導入して白（アルパ）、キューレッド（赤）と生産の種類と色幅を広げ、6年前ストエカス（ブルー）栄養系苗の中から見つけたのが“わたぼうし”です。今までに無かったブルーと白の組み合わせはひときわ目立ち、清涼感が有りました。この“わたぼうし”の出現により、ストエカス系ラベンダーの花色の幅も広がり消費者に対するアピール度も増すと思います。今後の展開としては、ブルーの花、赤のリボン、白と赤などの色の組み合わせの花を開発して行きたいと思います。

【問い合わせ先】

担 当： 萩原園芸 萩原 豊
T E L： 048-569-0108
F A X： 048-569-2657

花壇苗部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）



品 目 名： カレンジュラ
 品 種 名： まどかチーズトルテ
 出 品 者： 有限会社 角田ナーセリー
 育 成 者： 西川公一郎
 育 成 権 者： 有限会社角田ナーセリー
 U R L： <http://www.tnn.ne.jp>

【審査講評】

発色性の良い濃い黄色とオレンジ色の濃淡の花色が特徴のカレンジュラ。重なり合う一重咲きの花は、花びらの中ほどがオレンジ色となり、花色の鮮やかさをバランス良く引き立て、見る者を優しい気持ちにさせる。生育も旺盛で、1株当たり直径1m、草丈が60cmにも達するボリューム感ある株となる。最盛期には1株で100輪を超える花を着け、花壇苗としてのパフォーマンスも申し分ない。特に、カレンジュラ的重要病害であるウドンコ病を寄せ付けない耐病性を備えており、初心者でも安心して栽培し育て楽しむことができる。

更に、カレンジュラ（＝キンセンカ）が持つ「仏花」のイメージを一切感じさせない、全く新しい花壇の素材の誕生として期待でき、最優秀賞にふさわしい総合的に優れた秀逸な品種である。

【出品者からのコメント】

【開発の経緯】2004年、生産者が育種という機能を持つことに危惧しながら、委託育種という形でオリジナル開発を始めました。自社オリジナルの千日小坊や育種者西川公一郎が手がけていたデロスベルマなどと同時平行でカレンジュラの育種がスタートしたのですが、ターゲットを明確にするための1年とあって良い2004年、さらに絞り込まれた2005年の交配を経て2006年に排出された6品種のなかで群を抜いて良い形質を持つ品種がチーズトルテとアーモンドミルクでした。2006年に登録申請しましたが、ブリーディング特別賞を頂いたアーモンドミルクと共に育種3年目にして出願、4年目に商品化という出世頭です。

【開発コンセプト】1. 不足している秋 春対応型の商材を目標にする 2. 耐暑性と耐ウドンコ病性を強力にし、初夏にはダウンしてしまうしキンセンカのイメージを払拭する 3. 横張り性・分枝性・葉の色艶・花色などで気品を表現する 4. あくまでも園芸ターゲットの女性の感性に訴える「かわいさ」をもった品種を選ぶ

【発見・開発の面白さ・難しさ】意のままにレシピ通りに料理が出来上がればこんなに楽しいことはないのですが・・・「選抜することは捨てること」、まさに生産者にとってはつらい。更に、ほしい形質をもてる植物はどこに？が悩ましいところです。1次選抜後に気に留めていなかったところから意外と良い形質のものが

【今後の展開】耐暑性と結実による開花後の手入れに若干の不满があり、さらに改良の余地を残しています。

【問合わせ先】

担 当： 有限会社角田ナーセリー 専務取締役 角田ミサ子
 T E L： 0586-69-6351 090-4087-6737
 F A X： 0586-68-0901
 メール： misako@garden-goods.com



ベスト・フラワー（優秀賞）
（ブリーディング特別賞 同時受賞）



品 目 名： カレンジュラ
品 種 名： まどかアーモンドミルク
出 品 者： 有限会社 角田ナーセリー
育 成 者： 西川公一郎
育 成 権 者： 有限会社角田ナーセリー
U R L： <http://www.tnn.ne.jp>

【審査講評】

優しいクリーム色の半二重咲きの花びらと、花の中心が茶色となるカレンジュラ。花型と花色が斬新である。生育も旺盛で、花着きも良く、最盛期には1株で100輪を超える花を着け、花壇苗としてのパフォーマンスも申し分ない。特に、カレンジュラの重要病害であるウドンコ病を寄せ付けない耐病性を備えており、初心者でも安心して栽培し、育て楽しむことができる。また、カレンジュラ（＝キンセンカ）が持つ「仏花」のイメージを一切感じさせない、新しい花壇の素材として期待ができ、総合的に優れた品種として優秀賞を受賞した。加えて、仏花のイメージを取り扱った育種成果により、ブリーディング特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

【開発の経緯】2004年、生産者が育種という機能を持つことに危機感を感じながら、委託育種という形でオリジナル開発を始めました。自社オリジナルの千日小坊や育種者西川公一郎が手がけていたデロスベルマなどと同時平行でカレンジュラの育種がスタートしたのですが、ターゲットを明確にするための1年といて良い2004年、さらに絞り込まれた2005年の交配を経て2006年に排出された6品種のなかで群を抜いて良い形質を持つ品種がチーズトルテとアーモンドミルクでした。2006年に登録申請しましたが、2008フラワーオブザイヤーを頂いたチーズトルテと共に育種3年目にして出願、4年目に商品化という出世頭です。

【開発のコンセプト】1. 不足している秋 春対応型の商材を目標にする 2. 耐暑性と耐ウドンコ病性を強力にし、初夏にはダウンしてしまうキンセンカのイメージを払拭する 3. 横張り性・分枝性・葉の色艶・花色などで気品を表現する 4. あくまで園芸ターゲットの女性の感性に訴える「かわいさ」をもった品種を選ぶ

【発見・開発の面白さ、難しさ】意のままにレシビどりに料理が出来上がればこんなに楽しいことはないのですが・・・「選抜することは捨てること、まさに生産者にとってはつらい。更に、ほしい形質をもてる植物はどこに？が悩ましいところです。1次選抜後に気に留めていなかったところから意外と良い形質のものが

【今後の展開】耐暑性と結実による開花後の手入れに若干の不満があり、さらに改良の余地を残しています。

【問い合わせ先】

担 当： 有限会社角田ナーセリー
専務取締役 角田ミサ子
T E L： 0586-69-6351 090-4087-6737
F A X： 0586-68-0901
メール： misako@garden-goods.com

ベスト・フラワー(優秀賞)



品 目 名： ウィオラ(ピオラ)
品 種 名： F₁ シャングリラ オーキッド
出 品 者： トキタ種苗株式会社
育 成 者： トキタ種苗株式会社 秋山泰男
育 成 権 者： トキタ種苗株式会社
U R L： <http://www.tokitaseed.co.jp>

【審査講評】

落ち着いた紫色のグラデーションと小さめな黄色の目との色合いが魅力的で、趣ある上品さを感じさせる非常に美しいピオラ。生育も旺盛で、横に広がるようにカーペット状に生育し、草丈は約30cm、1株当たりの直径が80cm以上にもなる。冬から初夏にかけて連続して安定して咲き続け、最盛期には1株当たり400輪近くの見事な花を着ける。高温多湿の時期になっても病害虫に強い点も評価できる。総合的に見ても高く評価でき、優秀賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

「シャングリラ オーキッド」は横に大きく広がる、早生タイプのピオラ「シャングリラ シリーズ」の一員で、秋のうちから大きな株になり、花付きの良いのが特徴の品種です。冬咲き性もあり、秋から冬、春まで長い期間楽しめます。花色は青味かったピンク色で、低温期は色が濃くなります。完全なほふく性とする、株の周囲のみに花が付く傾向にあるため、本シリーズはマウンド状に株全体に花が付くように開発しました。またポットパフォーマンスにも考慮して、横張り性にもかかわらずポットでは伸びすぎず、早咲きで、株が出来ることから、早期出荷から遅出しまで対応できます。今後は、「シャングリラ シリーズ」の知名度を上げ、普及を図るとともに、新たな花色をシリーズに加えたいと考えております。

【問い合わせ先】

担 当： トキタ種苗株式会社 販売部花き特販課
大谷 崇
T E L： 048-683-3434
F A X： 048-684-5042
メール： totani@tokitaseed.co.jp

カラークリエイト特別賞



品 目 名： ペチュニア
 品 種 名： スーパーカル ネオンローズ
 出 品 者： 株式会社サカタのタネ
 育 成 者： 宇井啓修、石川信、大石幸久
 育 成 権 者： 株式会社サカタのタネ
 U R L： <http://www.sakataseed.co.jp>

【審査講評】

鮮やかな濃いピンク色の花びらと中心の濃黄色とのコントラストが人目を引くペチュニア。従来までのペチュニアは、花と葉がべとつき花殻を摘む際に不快感があったが、その性質を取り払われた点は、特に評価できる。インパクトある色彩が斬新であることから、カラークリエイト特別賞を受賞した。

【出品者からのコメント】

ペチュニアは花形、花色、草姿が豊富で、加湿条件に強く、カリブラコアに比べて高 pH 土壌でも育てやすいといった特長をもちます。カリブラコアは輝きのある花色と花弁の強さ、花数の多さにくわえ、雨の後の花の回復力に優れています。さらに、植物体にさわってもペチュニアのようにベタつかない、などの特長をもちます。

「このようなペチュニアとカリブラコアの長所をあわせもった“いいとこどり”の、まったく新しい植物をつくりたい」というコンセプトのもと、10年以上の歳月をかけて開発したのが『スーパーカル』シリーズです。異なる属同士の植物のため、通常は交配ができませんが、当社の育種工学技術を駆使し、新たに育成した属間雑種として誕生しました。

その結果、花つきがよく、花径4～6cmの形のよい美しい色の花を次々に咲かせ、マウント状と呼ばれる、こんもりとした草姿に茂る画期的な新品種の開発に成功しました。梅雨時などの多湿な日本の環境下でもよく育ち、植物にとっての高 pH (7.0程度)の土壌でも生育に影響を受けにくいという性質をもつことから、土質をあまり選ばず栽培することができます。また、当社のペチュニアやカリブラコアに付与させた短日期の開花性もそのまま受け継いでいるため、春から秋まで長期間花を楽しめます。

同シリーズの花弁はベルベットのような滑らかな手触りがあり、ベタつきません。このような『スーパーカル』シリーズの“いいとこ取り”の特長は、属間雑種ならではのメリットといえるでしょう。

『スーパーカル ネオンローズ』は、その名のとおり“ネオン”のように光り輝く鮮やかな濃いローズの花色が特徴です。

2008年新発表の3品種に加え、今後さらにラインアップを拡大する予定です。

【問い合わせ先】

担 当： 株式会社サカタのタネ 小売商品統括部
 T E L： 045-945-8872
 F A X： 045-945-8873

ベスト・フラワー(優秀賞)



品 目 名： シクラメン
 品 種 名： メティス ピクトリア デコミックス
 出 品 者： 株式会社 モレル ディフュージョン
 育 成 者： Guy Morel
 育 成 権 者： 株式会社 モレル ディフュージョン

【審査講評】

芳香性があり、花は淡い桃色から濃い桃色までの花が混ざり合うシクラメン。花びらの付け根は濃赤紫色がかり、花びらの先にフリンジが入る。シルバー・グリーン系の葉色と、明瞭な葉の模様が美しく、花をよく引き立てている。清楚で育ててみたくなるシクラメンである。花着きも良く、最盛期には1株当たり20輪近くの花を着ける。霜よけ下のコンテナ栽培で秋から春までの長期間にわたって楽しむことができる観賞価値が高い品種であり、総合的に見ても優れた品種として優秀賞を受賞した。

ミニF1初のピクトリア。非常に早生で発育旺盛。約85%が白い花弁にピンクやパープルの目とフリンジが入るピクトリアで、約15%がピンク系の花弁のピクトリアです。葉は主にシルバーリーフの『デコ』タイプ、約20%の株は濃い緑葉です。

ベスト・フラワー（優秀賞）

（グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞）



品 目 名： シクラメン

品 種 名： ティアニス ファンタジア ライトパープル

出 品 者： 株式会社 モレル ディフュージョン

育 成 者： Guy Morel

育 成 権 者： 株式会社 モレル ディフュージョン

【審査講評】

花色が明るい鮮やかな紫色で、花弁の周りが白色に縁取られた、華やかさを感じさせるシクラメン。緑の葉には明瞭な帯斑が入り、花をよく引き立てる。花着きは極めて良く、ボリューム感がある。最盛期には一株で30輪を超える花を着ける。霜よけ下のコンテナ栽培で、秋から春まで長期間にわたって楽しむことができる極めて観賞価値の高い品種であり、総合的に優れた品種として優秀賞を受賞した。また、長期間にわたり花着きが極めて良く、育て易い品種であることから、グッドパフォーマンス特別賞を同時に受賞した。

コンテナ苗等部門

ベスト・フラワー(優秀賞)

(ニューバリュー特別賞 同時受賞)



品 目 名： ニチニチソウ
 品 種 名： サンビーナス ローズ
 出 品 者： サントリーフラワーズ株式会社
 育 成 権 者： サントリーフラワーズ株式会社
 U R L： <http://www.suntory.jp/FLOWER/>

【審査講評】

枝垂れるように咲く草姿と、鮮やかな朱色に中心部に白色が入った花色が印象的なニチニチソウ。葉は光沢感がある鮮やかな緑色で花をよく引き立てている。生育は極めて旺盛で、定植直後から次々と枝々かれし、初夏から10月上旬頃まで咲き続ける。最盛期には1株当たり150輪を超える花を着け、パフォーマンスでも高く評価できる。特に、ボリューム感ある枝垂れ咲くその草姿は、鮮やかな花色と相まってとても美しい。夏のコンテナを飾る新たな素材として、総合的に優れており、優秀賞に決定した。加えて、枝垂れ咲くその草姿が、今までにない新しいコンテナ栽培の素材を作ったものとして、ニューバリュー特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

世界的規模で進む温暖化。特に多くの人々が生活する日本の都市部はヒートアイランド現象などにより、植物にとっても「夏を乗り切る」ことが難しくなっています。サンビーナスの開発にあたっては以下3点に着目しました。「暑さに耐える性質」「夏に映える鮮やかでまた、爽やかな花色」「みずみずしくしなやかで、かるやかな草姿」。また、さらにこだわったのは「エレガンスさ」です。「暑さに強い」性質を生かし突き進めると、どうしても大ぶりで、野暮ったくなりがち。これでは、夏の暑さに清涼感を与えられる花となりません。近年はあまり一般的な園芸店では見受けられなくなりましたが、夏に楽しむ日本の園芸には「吊りシノブ」があります。シダ科の植物であるシノブ(Davallia mariesii)をイワヒバ根に着生させ、軒下に吊り、風鈴などをつけて楽しみます。イワヒバに滴る水や、シノブの形容し難い軽やかさは暑さを和らげ、清涼感を与えます。

この吊りシノブのような清涼感を保ちながら、エレガントに枝が枝垂れ、葉にも光沢が感じられる、みずみずしい印象を与えるシリーズとしました。また、元気を与える鮮やかな花色としてローズ色を、花型は丸弁化が主流の中、あえてほっそりとした花びらを選びました。今後はより元気にさせる原色や、爽やかな花色の開発にも挑戦します。うだるような夏の午後、皆様に一服の清涼感を与えられる品種をこれからも開発してまいります。

【問い合わせ先】

担 当： サントリーフラワーズ株式会社
 園芸事業部 村田悠実
 T E L： 03-5210-2116
 F A X： 03-5210-3949
 メール： Yumi_Murata@suntoryflowers.co.jp

ベスト・フラワー(優秀賞)

(カラークリエイト特別賞)



品 目 名： ペツニア
 品 種 名： スーパーカル ネオンローズ
 出 品 者： 株式会社サカタのタネ
 育 成 者： 宇井啓修、石川信、大石幸久
 育 成 権 者： 株式会社サカタのタネ

【審査講評】

鮮やかな濃いピンク色の花びらと中心の濃黄色のコントラストが人目を引くペツニア。従来までのペツニアは、花と葉がべとつき花殻を摘む際に不快感があったが、その性質が取り払われた点は、特に評価できる。生育も極めて旺盛で、コンテナ栽培では定植後2か月後には草丈30cm、1株当たりの直径が80cmにも達し、1株でもボリューム感を楽しめる。曇り空の下での開花性も良好で、春から初秋まで次々と花を咲かせる。最盛期には1株当たり400輪近くの花を着ける。総合的に見ても優れた品種として優秀賞を受賞した。また、インパクトある色彩が斬新であることから、カラークリエイト特別賞を同時に受賞した。

【出品者からのコメント】

ペツニアは花形、花色、草姿が豊富で、加湿条件に強く、カリブラコアに比べて高 pH 土壌でも育てやすいといった特長をもちます。カリブラコアは輝きのある花色と花弁の強さ、花数の多さにくわえ、雨の後の花の回復力に優れています。さらに、植物体にさわってもペツニアのようにベタつかない、などの特長をもちます。

「このようなペツニアとカリブラコアの長所をあわせもった“いいとこどり”の、まったく新しい植物をつくりたい」というコンセプトのもと、10年以上の歳月をかけて開発したのが『スーパーカル』シリーズです。異なる属同士の植物のため、通常は交配ができませんが、当社の育種工学技術を駆使し、新たに育成した属間雑種として誕生しました。

その結果、花つきがよく、花径4~6cmの形のよい美しい色の花を次々に咲かせ、マウント状と呼ばれる、こんもりとした草姿に茂る画期的な新品種の開発に成功しました。梅雨時などの多湿な日本の環境下でもよく育ち、植物にとっての高 pH (7.0程度)の土壌でも生育に影響を受けにくいという性質をもつことから、土質をあまり選ばず栽培することができます。また、当社のペツニアやカリブラコアに付与させた短日期の開花性もそのまま受け継いでいるため、春から秋まで長期間花を楽しめます。

同シリーズの花弁はベルベットのような滑らかな手触りがあり、ベタつきません。このような『スーパーカル』シリーズの“いいとこどり”の特長は、属間雑種ならではのメリットといえるでしょう。

『スーパーカル ネオンローズ』は、その名のとおり“ネオン”のように光り輝く鮮やかな濃いローズの花色が特徴です。2008年新発表の3品種に加え、今後さらにラインアップを拡大する予定です。

【問い合わせ先】

担 当： 株式会社サカタのタネ 小売商品統括部
 T E L： 045-945-8872
 F A X： 045-945-8873

カラークリエイト特別賞



品 目 名： シクラメン
品 種 名： ティアニス ファンタジア ディープ マゼンタ
出 品 者： 株式会社 モレル ディフュージョン
育 成 者： Guy Morel
育 成 権 者： 株式会社 モレル ディフュージョン

【審査講評】

濃いワインレッドの花色で花びらの周りが白色に縁取られ、高級感ある華やかさを感じさせるシクラメン。濃緑の葉には模様が入り花をよく引き立てる。霜よけ下のコンテナ栽培で、秋から春までの長期間にわたって楽しむことができる。鮮明な花色が際立って印象的な品種であることから、カラークリエイト特別賞を受賞した。